

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	坂田ヶ池総合公園		
指定管理者	NPO法人 成田坂田ヶ池の友		
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日	～ 令和 3 年 3 月 31 日	3 年目
施設所管課	都市部 公園緑地 課		

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A	
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A	
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A	
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A	
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A	
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A	
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A	
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A	
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A	
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A	
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A	
		避難経路は適切に確保されているか	—	—	
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A	
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A	
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A	
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	B	A	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	B	B	
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
	その他		—	—	
	【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)		A	
	指定管理者の自己評価	施設・人員・利用料金・外部委託は、適正に管理を実施した。記録及び報告・連絡体制については、日々の作業内容の記録、月1回の定例報告を実施しており、その他の情報交換についてもその都度行った。利用者に関する個人情報も厳重に管理し外部に漏れないように注意を払った。			
	施設所管課の評価	月に1度の定例打合せでは、日々の業務を記録した作業日報や作業写真の他、資料が適切にまとめられており、業務内容や公園の現状を明確に把握することが出来た。今後の課題としては、災害時のマニュアルや、緊急時の連絡体制など、危機管理体制の見直しが望まれる。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
II サービスの内容や水準に関する	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	—	—
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	B	B
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	B	B
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
	その他		—	—
	【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A	

指定管理者総合評価シート

様式 4

Ⅱ 評価	指定管理者の自己評価	公園の来園者は、年間11万人を超える。特にキャンプ場利用者、園児の遠足、遊具遊びの来園者が多くなっている。来園者に公園の管理接遇に関するモニタリング調査(100組)を8月に実施した結果、公園施設管理において高い評価を得た。
	施設所管課の評価	キャンプ場の利用時間に関して独自の運用方法を提案するなど、利用者からの苦情や要望に対して真摯に向き合う姿勢が見られた。また、日々の点検に基づいた修繕が早急に対応されており、サービス水準の維持が図られていた。

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	その他		—	—
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価（標準 6 項目・本施設 6 項目）	A	
	指定管理者の自己評価	経理については、「現金・預金残高日報」を作成し、月1度会計事務所に持参し月毎の決算を実施した。又、NPO法人の性格上予算執行に十分な注意を払い、最小限の利益に留めた。		
	施設所管課の評価	歳入歳出決算書を作成のうえ、監査委員による監査を経て、適正な経理事務が執行されていた。		

評価項目		評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	多くの人に利用していただく。(来園者数)	80,000人/年・延	A	A
	目標②	イベントの実施	6回/年	A	A
	目標③	作業効率の向上(2%)-->新規・レベルアップ作業の展開	400千円/年	A	A
	目標④	経費支出削減(1%)-->消耗品節約、省エネ、外注経費縮減	200千円/年	A	A
	目標⑤	健全経営＝損益ゼロ(委託費の完全消費とサービス最大化)	利益率0.005%以下	A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(標準 5 項目・本施設 5 項目)			A
	指定管理者の自己評価	公園利用者の向上(キャンプ場利用者、遠足や家族連れの湯具遊び)及びイベントの定着化(風と遊ぶ会、七夕飾り試作講座、自然観察会、盆踊り大会、いも堀大会、正月飾り、もちつき大会)とキャンプ場利用者、の要望に基づき薪の提供を実施し来園者の増加と収入増を図った。			
施設所管課の評価	自主事業に関して多くの利用者から好評を得ていた。				

V	【総合評価】	I～Ⅳの総括による総合評価	A
---	--------	---------------	---

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	日々の点検により、施設の現状と課題が把握出来ており、適切な修繕を実施していた。また、利用者の声を真摯に受け止め、施設運営に反映させる姿勢が見受けられた。
	改善が望まれる点	災害時のマニュアルや、防災訓練など危機管理体制の見直しが望まれる。また、施設の点検は適切に行われているが、今後は点検方法や点検表を作成するなどして、点検体制を確立させることが望ましい。